

旭田っ子だより

令和6年1月30日(火)

旭田小 学校だより No.10

文責:校長 天野 圭

【スキー教室お世話になります】

来月9日(金)にスキー教室を実施いたします。今年度もたくさんの保護者に御協力いただき、スキー教室を実施できますこと、心から感謝いたします。また、たくさんの保護者に参加いただけますこと本校のよき伝統だと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

最優先は、児童・指導協力者の安全な活動です。

特に大きな事故やケガが予想されるのは、次のような内容かと思えます。

児童だけの自由滑走

→ 本校のスキー教室のねらいの一つに「…技術を習得させ…。自ら運動に親しむ…。」とねらいがあります。そのような視点からも、指導協力者が先に滑走し児童を指導・助言することが大切です。もちろん毎回ではなく、お手本となる児童がいれば、みんなで滑りを見て称賛することもあると思います。危険なことは、児童が猛スピードで指導協力者より先に滑り事故やケガに発展することです。児童が先に行く自由滑走は、禁止するようにお願いいたします。

児童の滑りに合っていない斜面で実施するとき

→ リフトに乗ったのはいいですが、帰りはスキーを担いで来る等、児童が怖いと思う斜面での学習は避けてください。緩やかな斜面でも、滑り降りたという達成感を味わうことができるようお願いいたします。

あと1回は、次回のお楽しみ

→ 集合時間まであと少しの時は、無理にあと1回滑らないようにお願いします。時間に間に合うようにと急いで滑走し、暴走することでケガに繋がります。集合時間まで微妙な時間帯であれば、あと1回は次回に楽しんでねと児童にお話してください。

準備運動をしっかりと

→ 児童も含め、指導協力者の方々も準備運動をしっかりと行い、安全な指導をお願いいたします。

学習前に学校でも十分に指導してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【元気なお子さんを】

本校の主事である小山花々梨先生が、2月6日(火)より産前産後の休暇、その後育児休暇でしばらくお休みします。学校・PTA関連の予算執行や会計決算等、専門的な立場から、チーム旭田の一員として職務を遂行してくれました。体調管理に留意し、元気で健康なお子さんを出産してほしいと願います。まお、花々梨先生がお休みの間、補充として新しい先生にお手伝いいただく予定です。決定しましたら再度、紹介いたします。保護者の皆さまには御迷惑をおかけすることがないように、組織的に取り組み、協力体制を強化していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

【学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化について】

文部科学省より、学校・保護者等双方の負担軽減や迅速な情報共有を実現するために連絡手段のデジタル化を進めるよう通知がありました。内容を保護者の皆さんに簡潔に周知し、今後段階的に進めることができるよう検討してまいります。

押印の効力について

押印があることで、文書内容を学校・保護者等が確認、承諾したという一定程度「推定」されたことにはなりますが、例えば盗用等により他人が利用することも可能です。特に認印の場合は、保護者等のものであることを立証することは事実上困難であり、押印の効果は限定的になります。そのような場合、押印より自署（サイン）が効果的な場合もあります。

デジタル化した際の保護者等からの意志表示であることの証明について

保護者等へのなりすまし等による回答を防ぐために、情報伝達サービスへの利用登録をすることで、ログインID・日時・回答内容等を記録・保存することにより、情報と個人の紐づけができ、保護者等からの意志表示であることを証明する手段になります。もちろん確実なデジタル環境が必要になります。大まかですが以上のような内容です。

現在本校でも、メール等で周知させていただいている内容や押印をいただいている文書等もあります。今後本校の実態や地域の実情を踏まえつつ、可能なところから進めていきたいと思っております。

なお、3月になりましたら、期間を限定させていただき、デジタル化に向けて試験的に運用させていただくよう検討している内容もあります。詳細はおって御連絡いたします。その際は御協力をお願いいたします。

【創立150周年に向けて】

いよいよ今年は創立150周年になります。学校はもちろんですが、保護者、地域の皆さんでこれまでの歴史に感謝すると共に今後の方向性について検討できる年になればいいと思っています。現在の進捗状況です。まだ町教育行政より予算化はされていないのですが、制作する上で時間を要するものや予算なしで設置できるものについては進めております。

- ・記念Tシャツ → 大運動会で着用するために、児童中心にデザインを検討しております。予算化されない場合は、自費で購入する形になります。
- ・校内掲示物 → 過年度の校舎写真等を少しずつ記念コーナーに掲示しています。

【校長のひとり言】

小学5年生の時、初めて生の英語を聞き、中学生になったら英語を勉強しようと中学1年～3年までの3年間で新教研テストの満点を逃したのは3回だけ。テスト終了後、県内満点者の名前が掲示されるのが快感だった。大人になり英語の実力を試そうと、英語専門の家内と日本人のいないカリブ海にサイトシーン。国際線の機内で、きどって英語でコーヒーが飲みたいとCAに伝えたところ、出てきたのはコーラ。同じ言葉で伝えた家内はコーヒー。どこが違ったの(☹) 底まで透き通ったカリブ海。イルカに抱きつきながら泳ぐアトラクション。泳ぐ前、現地の担当者が何か説明した。「危ないよ。」は聞き取れたがあとはI don't understand.イルカと泳いでいるといきなりイルカが右足にがぶり。痛～い。噛まれてから家内に聞くと、事前の説明で「イルカより下を泳ぐとイルカが怒り攻撃してくるよ。」だったと。今でも歯形が残っている。やはり今も英語を話せるようになりたい。がんばろ。